



四万十つるの里づくりの会 平成26年度取り組みダイジェスト

平成26年度は地域の方々の協力を得て、以下のような取り組みを行いました。セブンイレブン記念財団、四国クリエイティブ協会、四万十ロータリークラブからの助成や、国土交通省の「四万十川自然再生事業」による協力も頂きました。



取り組みの様子は
ホームページで
随時公開中！

<http://www.shimanto-tsuru.com/>



平成26年

4月

ツルのえさ場・ねぐらづくり（江ノ村地区）

期間 ■ 通年

《実施内容》江ノ村地区では、休耕田を借り上げてツルの越冬地整備を継続。地元農家の方に米を作ってもらい、収穫後にツルの餌となる二番穂を残す計画でしたが、大雨や台風の影響等で稲がうまく育たなかったため、そのまま3月まで稲穂を残して餌としました。また、秋にはえさ場の周辺部の除草を行って周囲の見晴らしをよくし、警戒心の強いツルが安心して過ごせる環境を整えました。



10月、ツルの越冬期前に除草。重機を使い4日間かけて行いました

7月

夏の「ツルの自然体験学習会」

日時 ■ 平成26年7月2日（水）10:00~12:00
場所 ■ 四万十市立東中筋中学校、中筋川中山箇所
参加者 ■ 約50名（児童生徒31名、その他スタッフ等）

《実施内容》故澤田佳長先生（野生生物環境研究センター所長）が地元の小中学生に、前年度に中山箇所の人工湿地に初飛来・越冬したマナヅルの行動等について講義しました。中山箇所では、人工湿地の整備のポイントなどを解説。湿地に生息する水生生物にも触れもらい、最後に、実りの秋にツルの餌となることを願って、全員でえさ場の湿地にモミを撒きました。



澤田先生の講義



水生生物の観察

8月

平成26年度総会

日時 ■ 平成26年8月5日（火）16:00~17:00
場所 ■ 中村商工会館（3F 大会議室）
参加者 ■ 23名

《実施内容》事業計画の協議では、「四万十つるの里祭り」と連動して、西日本エリアで鳥類保護の活動をしている地域の方々と意見交換や交流を図るシンポジウムの開催が決定しました。



10月

ツルの飛来状況調査

期間 ■ 平成26年10月~平成27年2月

《実施内容》地元の方々と協力し合って、ツル類の飛来数や行動を調査しました。平成26年度に四万十市に下りたツルはすべてナベヅルでした。初渡来日は11月7日と例年よりも遅く、また地上での確認日数も15日間と少ない結果となりました（日最大確認数は12羽）。渡来したツルは主に岩田・敷地地区の田、および四万十川入田地区の河原で過ごしていました。



秋の「ツルの自然体験学習会」

日時 ■ 平成26年10月29日（水）10:00~12:00
場所 ■ 中筋川中山箇所、江ノ村箇所
参加者 ■ 約50名（児童生徒31名、その他スタッフ等）

《実施内容》地元の小中学生に様々な越冬地整備の取り組みを手伝ってもらいました。中山箇所では、7月に撒いたモミが夏の洪水ですべて流されてしまったため、農家の方からツルの餌として提供頂いた玄米を皆で撒きました。江ノ村箇所では、ツルを呼び寄せるための模型「デコイ」の設置と、田の周りの草刈りを手伝ってもらいました。なお、草刈りには、助成金を頂いた四万十ロータリークラブの方々も協力して下さいました。

中山箇所の人工湿地に玄米を撒く子どもたち



江ノ村箇所でのデコイ設置（上）と畦道の草刈り（右）



11月

つるシンポジウム in 四万十

日程等 ■ 平成26年11月28日（金）・29日（土）

シンポジウム 28日 13:00~17:40
場所…中村地区建設協同組合会館

フィールドツアー 29日 9:30~14:00
場所…四万十市立東中筋中学校・ツルの里づくり事業実施箇所

主催 ■ つるシンポジウム in 四万十実行委員会
（四万十つるの里づくりの会、四万十川自然再生協議会、国土交通省四国地方整備局中村河川国道事務所、四万十市）

《実施内容》シンポジウムは、環境保全と地域づくりに関する講演、ツルやコウノトリを象徴とした地域づくりの実践事例紹介、四万十でのツル保護のあり方についてのパネルディスカッションと盛りだくさんの内容で行いました。県内外から約180人が集まりました。フィールドツアーでは、参加した約30人に、取り組みによって再生された湿地環境を実感するとともに、地元への普及啓発を目的とした「四万十つるの里祭り」を満喫してもらいました。



フィールドツアー

シンポと
同時開催！

第6回 四万十つるの里祭り

日時 ■ 平成26年11月29日（土）10:00~14:00

場所 ■ 四万十市立東中筋中学校 来場者 ■ 約800人

《実施内容》中筋川流域の冬のイベントとしておなじみになった「四万十つるの里祭り」。今回も音楽・パフォーマンス、地元の味覚が味わえる「ツル食堂」、野鳥の巣箱づくりやツルの写真パネル展など、老いも若きも楽しめる多彩なイベントを実施しました。



毎年大好評！ツル食堂の「四万十の野草がゆ」のプレゼントコーナー

つるシンポジウム in 四万十 実行委員会



9月に実行委員会を立ち上げ、シンポジウム当日までに8回の会議を開催。企画を練り上げました。



野鳥の巣箱づくり

平成27年

2月

国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」授賞式

日時 ■ 平成27年2月12日（木）
場所 ■ 中村商工会館（3F 大会議室）
出席者 ■ 22名

《実施内容》中筋川中山箇所の人工湿地におけるえさ場・ねぐらづくりの取り組み等が評価され、「手づくり郷土賞（一般部門）」を受賞。四国地方整備局長より認定証が授与されました。



認定証を手にした武田正会長（左）

会報で取り組みをPR！

地域の回覧や行事等での配布により、当会の活動を紹介しています。Vol.20（平成27年1月26日発行）では、「つるシンポジウム in 四万十」の開催報告や、10月に逝去された澤田佳長先生の追悼記事などを掲載しました。

